

「弟子、山に登る (Vo.3) 前編」

「弟子、山に登る (Vo.3) 前編」

先月、ウサヒの弟子は小朝日岳頂上にいました...>>「弟子、山に登る (Vo.2)」



弟子 「霧で景色は全く見えませんでしたが、秋の山は良いですね。」

山岳会員 「なら来月、朝日山岳会で山じまいをするからそれもおいで。」

朝日山岳会は登山道の整備などを行っている団体

弟子 「山じまい・・・？(山開きの反対みたいなものかな・・・)」

()はココロの声です。



▲「山じまい」の意味はよくわかりませんでした、参加することに。

山岳会員 「じゃあ、弟子さんはコーヒー持っていってくれる？」

(他の)山岳会員 「ダメよ！若いんだからもっと重いもの持たせなきゃ！」

弟子 「(ここは謙虚に行こう…)入るだけ荷物入れますよ。」



▲入るだけって言ったら、約4～5キロを背負う事に。

ということで、着任から5ヶ月、弟子はまたしても単独(もう誰も心配せず)で

「朝日連峰山じまい」を取材することになりました。



▲11月9日午前8時半頃、7月の土砂崩れで車が通れなくなっているのを、

白滝口より2～3km手前から登り始めます



▲途中、崖崩れの影響で車では全く通り抜けできなくなっていました。



▲ 30 分ほど歩いて白滝口へ到着！いよいよ本格的に登山が始まります。

今回は朝日連峰山開きと同じコースで登山し、鳥原小屋で一泊します。



弟子 「6 月ってこの道通りましたっけ？（緑の何かが積んである・・・）」

山岳会員 「今まで通っていた道は 7 月の豪雨災害で通れなくなったから、山岳会で土嚢を積んでこっち側に道を作ったんだよ。」

弟子 「・・・山岳会の方々、土嚢を持ってここまでくるんですか！？」

山岳会員 「(いやいや…)土嚢袋を持ってきて、現地の土を詰めるんだ。スコップやツルハシも持って山に行くよ。」

ちなみに今回の土嚢は UV カットで劣化が防げる優れものだとか。



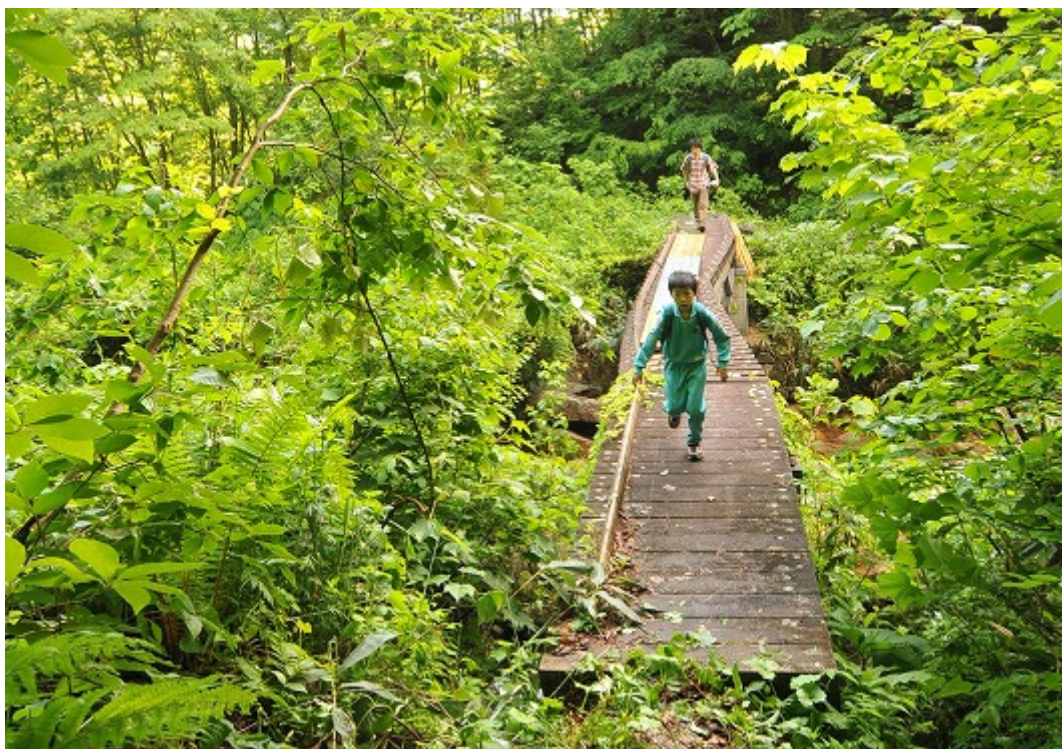
▲ 続いて更なる豪雨災害の痕跡…

弟子 「この橋って確かこんな感じだったのに…」



▲こんな感じ(今年の山開き時…)

弟子「自然の破壊力恐るべし…」



▲こちらは 2011 年 6 月の夏山開きの写真

変形していたものの、まだしっかり渡れる状態でした



▲橋が無いので、川を渡ります。

山岳会員「滑って流されたら終わりだぞ！」

弟子「今回の登山、過酷…」

豪雨災害の影響や落ち葉で地面が見えない等過酷な今回の登山でしたが、



▲ムキタケ



▲山ブドウ



▲ ナメコ



▲ サルナシ等、山のめぐみは豊富

弟子 「山ぶどう酸っぱいけど美味しいですね！この緑のは何ですか？」

山岳会員 「サルナシよ。キウイみたいな味がするから食べてみたら？」

弟子 「(キウイ味の植物？これが？)パクッ、ムシャムシャ・・・あ、本当だ！」

山岳会員 「サルやクマなど哺乳類たちの大好物なんだよ」



▲9日は晴天で蔵王や会津磐梯山の辺りまで見渡すことができました。



▲ 参加した小学生(未来の山岳会長?)にナメコ取りを教わったりしつつ



▲ 4 時間以上かけて鳥原小屋に到着

弟子「今回は落ち葉で滑ったり時間かかりましたが無事、到着しましたね。」

山岳会員 「さ、ご飯食べたら次の任務だぞ！」

弟子 「次の任務?? (き、聞いてない….)」

絶好の天気といえど、既に初冠雪を迎えた朝日連峰でこれから何が起こるのか…

弟子と朝日山岳会は無事に下山できるのか…

次回予告

弟子は朝日山岳会女性陣と行動をとものにすることに…



▲後ろ姿撮影禁止です！…弟子が手に持っているのは…？



▲そして翌日は雨、あの川を全員渡り切れるのか・・・

次回こうご期待！！

今後の予定

・ゆるキャラサミット in 羽生

11月23日、24日 埼玉県羽生市水郷公園

・・・あれ、この日って朝日町産業まつりの日じゃ・・・いったいウサヒはどうするの・・・??